

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7 11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

## おおさか総がかり集会に1万2千人

日本国憲法の公布72年を迎えた11月3日、輝け憲法！ともしる社会を！11・3おおさか総がかり集会が扇町公園で開催されました。秋晴れの中、市民団体や労働組合、市民など1万2千人、大障教からは、16分会25人が参加しました。

輝け憲法・ともに生きる社会を

主催者あいさつをおこなった米田彰男さん(戦争させない1000人委員会・大阪)は、「3千万署名の運動をさらに広げて安倍内閣総退陣に追い込みましよう」と呼びかけました。

ゲストスピーチした沖縄平和運動センターの山城博治議長は、「改憲発議と沖縄・辺野古への米軍新基地建設強行を阻止しよう」と訴えました。

ステージでは、9条改憲反対や脱原発、辺野古新基地反対などを



プラカードを掲げる大障教組合員

発信する社会派アイドルグループ、制服向上委員会」のライブや朝鮮初級学校の児童が祖国統一の願いを込めたダンスを披露しました。また、各分野からのスピーチでは、原爆被害者の会、LGBT当事者、原発賠償訴訟

## 11・3総がかり集会で署名行動 支援学校の現状を訴え192筆集める



11月3日、「改憲ストップ！安倍暴走政治は許さない！」の思いでおおさか総がかり集会に参加する人々に「府立支援学校の新校整備を求める請願」署名の協力を呼びかけました。

署名行動には、分会と大障教執行部から12人が参加しました。

公園内のいたるところで、各種団体が署名宣伝やビラ配布をしており、それに混じって、大阪の支援学校の現状を伝え、「障害のある子たちの学校が足りません。署名にご協力ください」と集会を訪れる人に訴えました。署名行動に参加した青年組合員は、「ぼく署名集めるの得意です」と集会に向かう人に次々と声をかけ、ひとりで40筆以上集めました。養護学校で勤めていたという元教員は、「昔から学校が足りずに子どもたちは詰め込まれていたが、今もそんなにひどいんですね」と快く署名に応じてくれました。

集会前の慌ただしい時間にもかかわらず、192筆の署名を集めました。

11月13日時点、署名集約は、17046筆です。支援学校の増設を求めて、引き続きひとりでも多くの署名を集められるよう、全教職員のご協力をお願いします。

### 市民と野党の共同で改憲ストップ！

集会には4野党の代表がいさつし、国民民主党・平野博文衆院議員からはメッセージが寄せられました。

日本共産党の辰巳孝太郎参院議員は、森友・加計問題での隠ぺいや公文書改ざんなど、「うそとごまかしの政治をやめさせよう」と述べ、市民と野党の共同で安倍政権と補完勢力の維新を打ち破ろうと訴えました。

立憲民主党の森山浩行衆院議員は、国交省が米軍新基地建設をめぐる沖縄県の埋め立

て承認撤回を強行するなど、ルール無視のやり方を糾弾しました。

社民党の服部良一元衆院議員は、改憲ではなく、9条を世界のスタンダードにすることこそ、日本の政治家の役割だと述べました。

自由党の渡辺義彦元衆院議員は、同党幹事長だった玉城デニー氏が沖縄知事選で勝利できたことは、県民だけでなく、日本の勝利だ」と強調しました。

閉会あいさつをおこなった丹羽徹さん(大阪憲法会議)は、「3千万署名を必ず成功させ、平和憲法と日本の未来を守り抜こう」と呼びかけました。

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/>

Eメール アドレス : [fushoukyou\\_1@mtb.biglobe.ne.jp](mailto:fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp)



書記局の  
ひとりごと

日本には、発展途上国の人材育成への支援を目的とした技能実習生という制度があります。技能実習生は、衣服製造や機械・金属などの製造業、建設業、農業など特定の職種で、最長5年間の就労が認められます。日本で働く約128万人の外国人労働者のうち、約26万人が技能実習生です。

技能実習生の賃金は、最低賃金の水準にとどまり、残業代も支払われない場合もあります。中には寮費などが差し引かれて手取りが10万円を大きく下回っている人もいます。経営者からの暴行や労働災害に遭うケースまであり、国連などから奴隷労働として批判されてきました。

政府は、こうした現状への対策を示さず、いま、今の国会で外国人労働者の受け入れを拡大する出入国管理法改正案を成立させようとしています。政府案では、熟練に至らない「特定技能1号」と熟練者の「特定技能2号」という新たな在留資格が設定されます。1号は家族帯同を認めず、在留期間は5年、2号は家族帯同を認めて永住許可も取得できるとしています。

しかし、1号の労働者の生活支援などは民間の支援団体任せで、現行の技能実習生同様、使い捨て雇用をされ人権侵害を受ける危険性が懸念されます。韓国では、政府の雇用労働部の管理下にある公団が雇用契約を代行するなど、外国人労働者の受け入れから帰国までをサポートしています。このように、政府の施策として外国人労働者を本格的に受け入れようとするからには、その支援や保護は、公的な機関が行わなければなりません。「働き手」としてだけでなく、人間として受け入れようとする考え方が求められます。

女性部・青年部合同企画

# 「青年教職員のための実践力アップ講座 &子育てパパ・ママ応援企画」

9月8日(日)に、大障教女性部と青年部合同で「青年教職員のための実践力アップ講座&パパ・ママ応援企画」を開催しました。

前半の「実践力アップ講座」は、「まるたせんせ」でおなじみの、五島丸太先生に講師としてお越しいただきました。五島先生は元堺市立百舌鳥支援学校を退職後、保育所や幼稚園、放課後デイサービスや作業所等でも公演をしておられ、今回の実践力アップ講座では、ギターをつかった歌遊びやみんなで楽しめるゲームなどを教えていただきました。

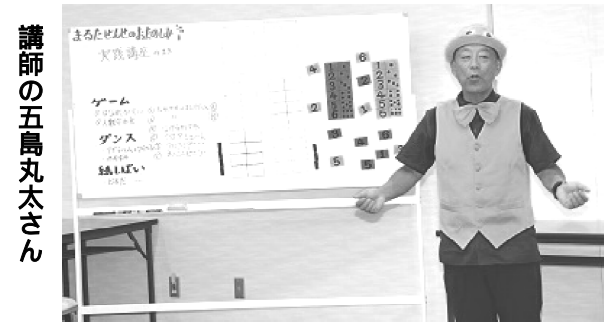
生徒と一緒にやってみてい！と思うような楽しいゲームが盛りだくさんで、会場ではお子さんも一緒に盛り上がりました。心も体もあたたまるようなあつという間の1時間で、元気をたくさんもらえる講座でした。



笑顔がはじけます！

後半の「パパ・ママ応援企画」の参加者は、育児真っ最中の方の参加は2組でしたが育児で悩んでいる同僚の話聞いて参加された方や日頃からいろいろな相談話をしている方等の参加で交流しました。現在、部分休業を取っている方から、小学校に入学すると子どもも早く家を出ないといけないので、家の施錠や鍵の管理のことが心配、就学までの権利は一定充実してきたが、特に低学年の頃は、心配が尽きないので、就学前までといういくつかの権利がもう少し長くとることができたら、という声もありました。住居の近くの職場に転勤することも選択肢のひとつなので、転勤の希望

はしっかりと理由を記述し管理職との面談で思いを伝えること、組合で人事相談会なども開催していることを伝えました。他には育児中の男性より、育休をとって育児の大変さを経験できてよかったとの感想が聞きました。



講師の五島丸太さん

また、同僚の方から「お宮参りをどうする？」などの相談があったことも話題になりました。「する」「しない」ということより、みんなで節目節目の子どもの成長を喜び合うことが大切なのでは？などと交流しました。制度のことだけでなく、育児をされている方のいろいろな悩みを聞くことができてよかったです。



フリー！フリー！

「西日本豪雨災害 子どもと学校の救援カンパ」  
47,343円集まりました！  
ご協力ありがとうございました！

全教の呼びかけに応じてとりくんだ「西日本豪雨災害カンパ」に、ご協力ありがとうございました。  
集まったカンパは全教に送金し、全教から、特に被害の大きかった広島、岡山、愛媛の3県を中心に「子どもや学校のために使ってください」と県や市に渡されました。安芸郡坂町はまだ土埃がひどい状態で、その地域の学校には空気清浄機を送ったそうです。倉敷市真備地区の決壊した小田川近くにある、4年前に開校したばかりの県立倉敷まきび支援学校は大きな被害を受け、校舎は2階まで浸水しスクールバスは全車廃車となり、2学期から子どもたちは他の支援学校など4か所に分かれて授業をおこなっています。全教から直接、まきび支援学校の校長先生にカンパを手渡し、皆さんに喜んでいただいたそうです。  
一日も早い復興と子どもたちの笑顔がもどってくることを願います。

集う、学ぶ、つながるはチカラ。  
命輝く平和な社会と障害児教育を今こそ！

## 第18回 全国障害児学級&学校 学習交流集会 in 宮城

日程：1月12日(土)～14日(月)

- 12日：全体会(フォレスト仙台)
- 13日：講座・文化バザール・分科会(フォレスト仙台)
- 14日：教育フォーラム(フォレスト仙台)

東日本大震災から7年が経ちました。今の現地に行ってたくさんのことを学びたいと思っています。みんなで一緒に学ぶことで、現地の想いを学んで、語って、深めましょう！



小島良平  
(堺支援学校分会)

青年組合員はさらに  
交通費10000円を  
補助します！